弥彦村モビリティ実証運行事業（新潟県弥彦村）

まちづくり×交通

国土交通省

事業実施主体

【共創プラットフォーム】
弥彦村自動運転プロジェクト
【実施主体】弥彦村
【共創パートナー】U-BitoJAPAN株式会社、BOLDLY株式会社、大日本印刷株式会社、越佐観光バス株式会社

地域課題

①JR弥彦線は、年々利用者数が減っており、JR東日本は不採算路線として発表、将来的な存続が心配されている。
②広域循環バスやひこ号の運行ルートから外れた集落からは、ルート変更を要望する声が頻繁に挙げられている。
③運行事業者はドライバーの高齢化・担い手不足に直面している。

実証事業の内容

①JR弥彦線を補完するため、吉田駅-弥彦駅間を自動運転車両で走行する。大字弥彦エリアでは、自動運転車両にて高頻度循環し、電動キックバイク/キックボードのシェアリングを実施する。
②広域循環バスやひこ号のルートから外れている集落を公共交通網に接続するため、新規路線を自動運転車両で走行する。

今後の展開

自動運転は、本事業終了後も運賃無料を目指す。
●個人版ふるさと納税　（本事業にかかる寄附充当事業の設定）
●企業版ふるさと納税
●広告料
●視察研修費
を積極的に獲得し、村の一般財源に頼らない運行を行う。
電動キックバイク/キックボードは、利用者からの利用料収入での運用を想定している。

事業実施区域

新潟県弥彦村

事業体制

弥彦村自動運転プロジェクト

事業実施主体①		事業実施主体③
弥彦村　事業総括	**自動運転業務の包括的委託** →	BOLDLY（株） 自動運転総括

事業実施主体②
U-BitoJAPAN（株）
事業者調整
コンサルタント
モビリティ事業者の参画取付
電動ｷｯｸﾊﾞｲｸ/ｷｯｸﾎﾞｰﾄﾞ手配

外注

業務委託①
大日本印刷（株）
車両ラッピング・モビリティポートの設置

業務委託②
越佐観光バス（株）
運行業務を受託